

平成21年度外国語活動における教材の効果的な活用及び 評価の在り方等に関する実践研究事業

八戸市立市野沢小学校

1 学校の概要

(1) 学校規模

- ① 学級数：7学級（内特別支援学級1学級）
- ② 児童数：135名
- ③ 教職員数：15名
- ④ 活動の対象学年：5学年・1学級・31名、6学年・1学級・31名

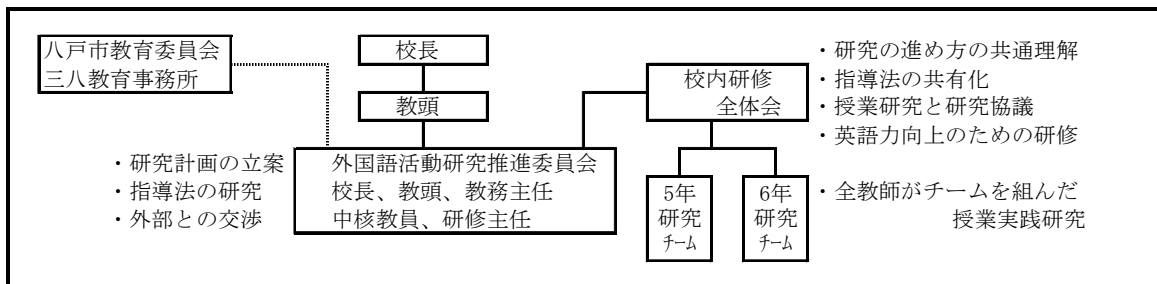
(2) 学校環境

- ① 平成17年の市町村合併により、本校は南郷村立から八戸市立になった。
- ② 市野沢は、八戸市の東南部最先端に位置し、標高250mの丘陵地である。葉たばこやそば、ブルーベリー等が栽培され、地域の名産となっているが、保護者の多くは、八戸市街地へ通勤している。
- ③ 周辺地域には、英語を話す外国人や英語の堪能な日本人は住んでおらず、英語塾等もなく、児童が日常生活において英語に触れる機会は少ない。

(3) 連絡先

- ① 住所：〒031-0111
青森県八戸市南郷区大字市野沢字石窪32番地10号
- ② 電話：0178-82-2042
- ③ FAX：0178-60-8008
- ④ ホームページ：http://www.hachinohe.ed.jp/ichins_e
- ⑤ 電子メール：ichins_e@hec.hachinohe.ed.jp

2 事業推進組織



3 事業経過

月	取組の内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画の共通理解 ・ e-黒板の使用法、クラスルームイングリッシュについての研修 ・ 事前アンケートの実施（1回目） ・ 授業の開始 ・ 参観日で外国語活動の授業（5年）を公開
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語活動の授業について、DVD「You can do it.」を視聴しての研修

6月	<ul style="list-style-type: none"> 5年・6年の提案授業及び研究協議会の実施 第1回青森県外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究事業推進協議会出席
7月	<ul style="list-style-type: none"> 教育指導課訪問で外国語活動の授業について指導主事より指導を受ける。 アンケートの実施（2回目）
8月	<ul style="list-style-type: none"> 1学期間の研究についての振り返りと共通理解 拡大校内研に向けた指導案検討会及び準備
9月	<ul style="list-style-type: none"> 参観日で外国語活動の授業（6年）を公開 拡大校内研の実施（5・6年の公開授業、直山木綿子調査官を招聘）
10月	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度小学校における英語活動等国際理解活動指導者養成研修に参加 八戸市小教研視聴覚教育研究会研究協議会で外国語活動の授業を公開 先進校（三戸町立三戸小学校 拡大校内研）の視察
11月	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度小学校における英語活動等国際理解活動指導者養成研修についての報告会を実施 中学校区の小中4校による公開授業研修会で、外国語活動の授業を公開
12月	<ul style="list-style-type: none"> 京都市小学校英語活動研究大会の視察 八戸市小学校教育研究会外国語活動研究会の冬期講習会に参加 アンケートの実施（3回目）
1月	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究事業に係る研修会に参加 第2回青森県外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究事業推進協議会出席

4 具体的取組内容

（1）文部科学省が作成する小学校における外国語活動のための教材を活用した授業の実践

- ① 英語ノート1・2に基づいて年間35時間分の指導案を作成し、授業を実践した。
- ② e-黒板を使って英語ノート準拠のデジタル教材をスクリーンに投影し、映像による教材提示やチャッツでの音声再生、ゲーム等に活用した。
- ③ 絵カードや写真、プレゼンテーションソフトやフラッシュ型教材等のICTを活用して、児童の興味・関心を高めるための教材提示の方法を工夫した。
- ④ 授業にコミュニケーションの場面を取り入れ、児童がコミュニケーションを図りたいと思うような活動内容を工夫した。

（2）コミュニケーション能力の素地に関する評価の観点及び評価方法の研究

- ① 授業1時間ごとに、児童の望ましい姿を定め評価規準を作成した。
- ② 研究主体を4～5名の教員からなるチーム制（5年と6年の2チーム）とし、授業では学級担任を中心に、複数教員によって児童の様子や変容について観察した。
- ③ 授業中の行動観察や授業後の振り返りカード、ワークシート、アンケート等をもとに、来年度に向けて評価の観点や方法等の在り方について情報収集をした。

（3）児童の興味・関心等の学習状況の変容に関する定量的な把握及び文部科学省が実施するアンケート等の調査の実施

- ① 外国語活動の授業を開始する前（4月）、1学期末（7月）と2学期末（12月）にアンケートを実施し、外国語活動に対する児童の意識や興味・関心、意欲等の変容を定量的に把握した。

- ② 毎時間の授業後に振り返りカードを記入させ、児童の興味・関心や意欲、感じていること等を把握し、次時以降の指導に生かした。
 - ③ 9月と1月に文部科学省の意識調査を実施した。
- (4) 授業の中心となる学級担任等及び校内の他の教員の指導力向上のための取組**
- ① 5・6年の学級担任を中心としたチーム制による研究体制とし、全教員が教材や指導案作り、授業（毎週木曜日の6時間目に設定）の実践に取り組んだ。
 - ② クラスルームイングリッシュについて、全教員に音声教材の配布と研修を実施した。
 - ③ 教育指導課訪問で外国語活動の授業について指導主事より指導をいただいた。
 - ④ 1学期に校内研での研究授業、2学期に直山木綿子調査官を招聘しての拡大校内研、市小教研での授業公開を実施した。
 - ⑤ 外国語活動について研究している近隣の小学校との研究会、京都市の小学校英語活動研究会の研究大会等に参加し、研修内容について全教員に伝達した。
 - ⑥ 八戸市の教育センターが主催した研修会に全教員で参加した。
- (5) 学級担任等を補助するためのALTや地域人材等の外部人材の効果的な活用**
- ① 各学期に1回ずつALTを活用した授業を実践した。
 - ② チーム制により、授業において複数教員が学級担任を補助したり、教材準備や指導案作り等の作業を分担したりした。
- (6) 他の小学校や中学校等との連携**
- ① 1学期の校内研での研究授業、2学期の小・中ジョイントスクール推進事業における公開授業で、中学校区内の小・中学校の教員に授業を公開した。1学期の校内研では、中学校区の小・中学校の教員も交えて研究協議を行った。
 - ② 作成した毎時間の指導案を、中学校区内の小・中学校に定期的に送付した。
 - ③ 拡大校内研等で市内及び市外の教員に授業を公開した。
 - ④ 今年度の外国語活動に関わる研究実践、作成した指導案や教材等を研究集録にまとめ、市内全小学校に配布した。
- (7) その他（校内における外国語活動推進体制の構築、地域との連携等）**
- ① 外国語活動推進委員会を組織し、様々な事業の計画立案を実施した。
 - ② 中核教員及び学級担任を中心にチームごとに共同で研究・実践を推進した。

5 取組の成果と課題

(1) 成果

- ① 4月のアンケート結果（半数以上の児童が外国語活動に不安を感じている）をもとに、児童の外国語活動への不安感を和らげるためにゲームやアクティビティ等の活動内容を工夫したことにより、外国語活動を「好き」と感じる児童が増え、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童が多く見られるようになった。7月及び12月のアンケート結果では、約75%の児童が外国語活動を「好き」と感じている。
- ② 年間35時間分の指導案及び使用する教材を作成して授業実践したことで、本校の児童の実態や指導者のねらいに応じた授業作りをすることができた。英語ノート1及び2の内容を基本としながらも、児童の実態や授業のねらいに応じて、使用するページや場面を限って活用したり、ノート自体は使わずにe-黒板のみで提示したりするなど、英語ノートに則ることなく別の活動に置き換えたりした。
- ③ 授業のねらいに応じて、絵カードや写真、e-黒板を使用した英語ノート準拠デジタル教材等のICT教材、指導者による動作化やジェスチャー等を組み合わせて活用したことで、

児童の興味・関心や意欲を高めたり、児童に必要感をもたせたりするための有効な提示方法の研究に取り組むことができた。

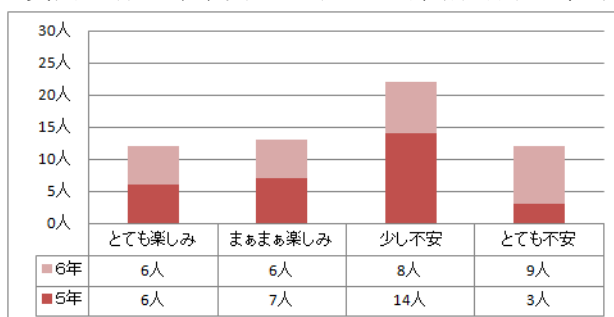
- ④ 学級担任を中心とした複数教員によるチームを組織し、全教員が外国語活動の研究・授業実践に取り組む体制としたことで、職員間で指導のアイデアを出し合いながら共同で教材や指導案作りを行うことができた。また、学級担任だけでなく校内の他の教員の外国語活動の指導力の向上を図ることができた。
- ⑤ 複数教員が共同で授業をすることで、児童の活動時間を多く確保したり、多面的に児童を評価したりすることができた。
- ⑥ 拡大校内研で直山調査官を招聘し、指導助言及び講演をしていただいたことで、外国語活動の指導方法や研究の進め方等について見直し・改善を図ることができた。
- ⑦ 定期的に児童アンケートを実施し、児童の意識や変容を定量的に把握することで、授業改善に活用することができた。

(2) 課題

- ① 評価の観点及び方法に関して踏み込んだ研究ができなかった。来年度は、今年度の実践をもとにして評価の観点及び方法を策定し、研究を進めていく。
- ② チームの打ち合わせや教材作成、授業の反省等の研究に関わる時間を放課後に設定したが十分ではなかった。来年度は、今年度作成したものを活用しながら研究の時間確保に努める。
- ③ 5年生と6年生が同じ時間（毎週木曜日の6時間目）に授業を実施するため、相互に授業を見合う機会が少なかった。来年度は、相互に授業を参観する機会を増やししながら研究の方向性についての共通理解を図るようにする。
- ④ 児童アンケートによると、外国語活動を「好きでないと感じている児童」が約25%、「進んで英語を話そうとしていない児童」が約23%いる。また、授業での様子を見ると、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童が多くなった一方で、自分から進んでコミュニケーションを図ろうとしない児童も見られる。これらの児童の多くは、英語を正しく話そうとする意識が強かったり、英語を話すことに対する不安や苦手意識を感じたりしている。引き続き、英語の音声や表現に楽しく慣れ親しませるための活動を工夫したり、ほめて自信をもたせたりする等、手立てを講じる必要がある。
- ⑤ 進んでコミュニケーションを図ろうとしない児童に対して、コミュニケーションを図りたいと感じさせるような教材開発や指導者の働きかけの工夫（指導法）について研究を進めていく必要がある。

【参考】児童アンケートの結果 対象：第5学年31名、第6学年31名、計62名
4月の事前アンケート（平成21年4月16日実施）

○質問内容「今年度から始まる外国語活動は、楽しみですか？」

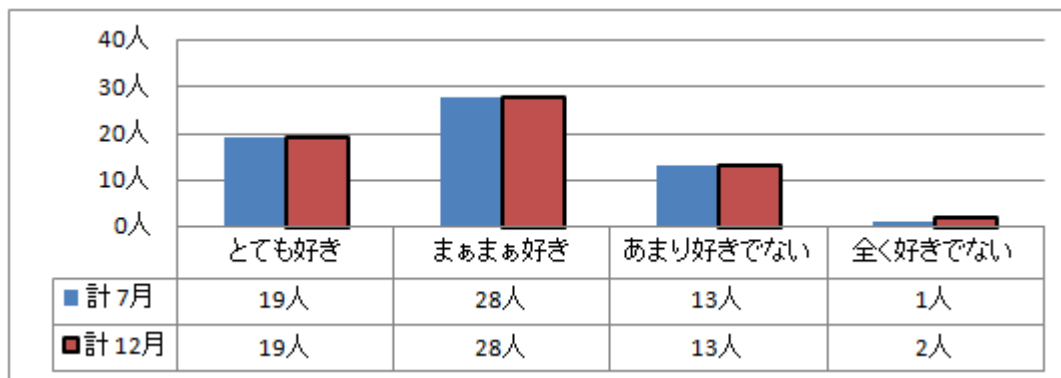


「不安」だと答えた理由（自由記述）

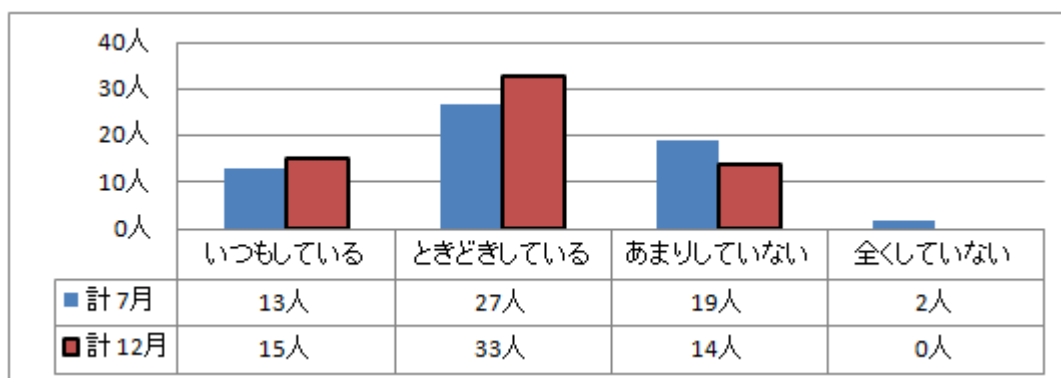
- ・英語を話すのが苦手だ。
- ・発音が難しい。
- ・間違えるのがこわい。
- ・英語を1回覚えても、すぐに忘れてしまう。

① 7月・12月のアンケート（平成21年7月17日・12月18日実施）抜粋

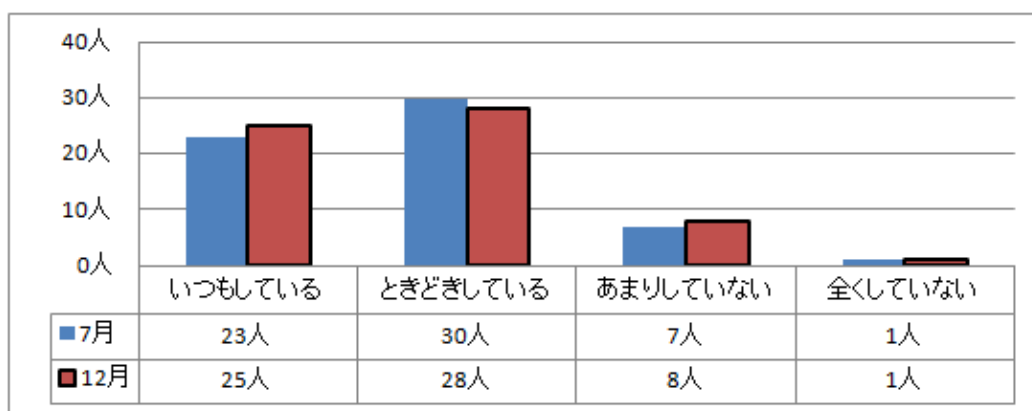
○質問内容「外国語活動の授業は、好きですか？」



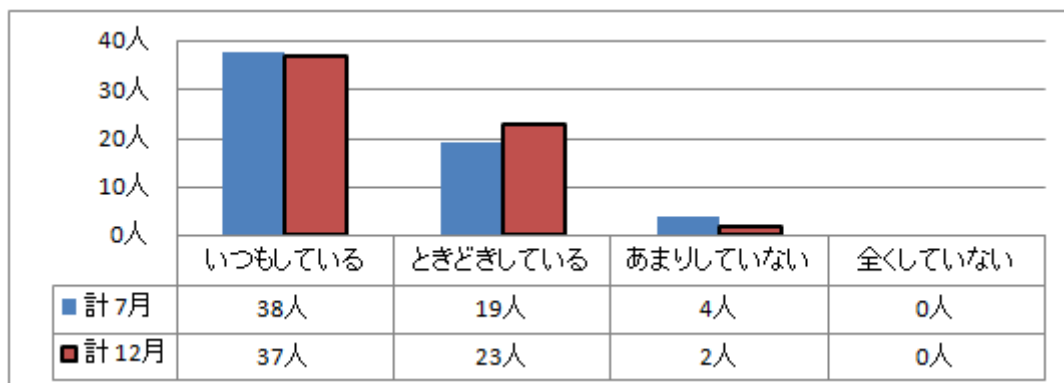
○質問内容「あなたは、外国語活動の時間に進んで英語を話そうとしていますか？」



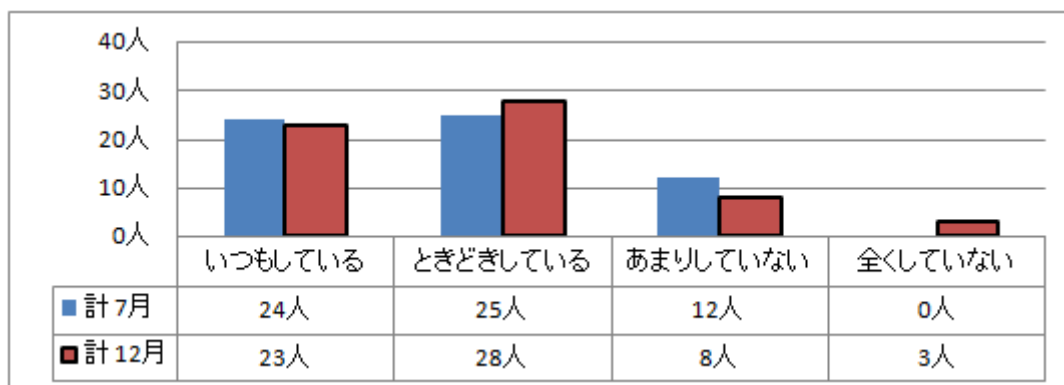
○質問内容「あなたは、外国語活動の時間に歌やゲーム、会話に進んで参加していますか？」



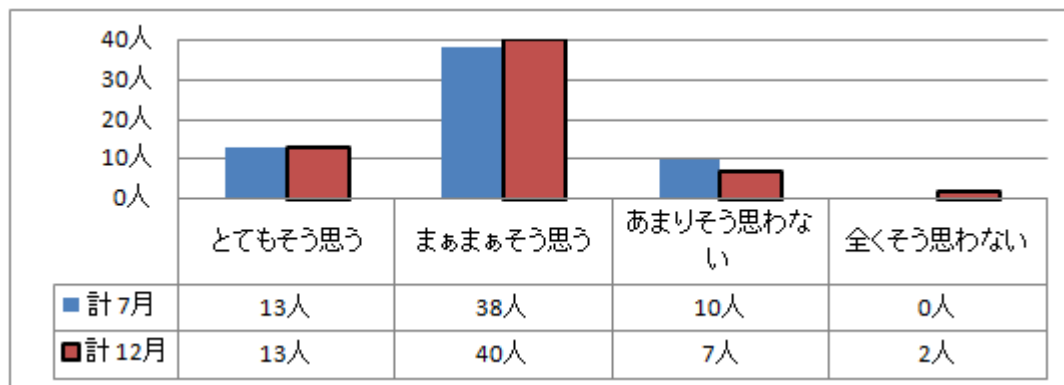
○質問内容「あなたは、先生やALT、友だちが話す英語をしっかりと聞き取ろうとしていますか？」



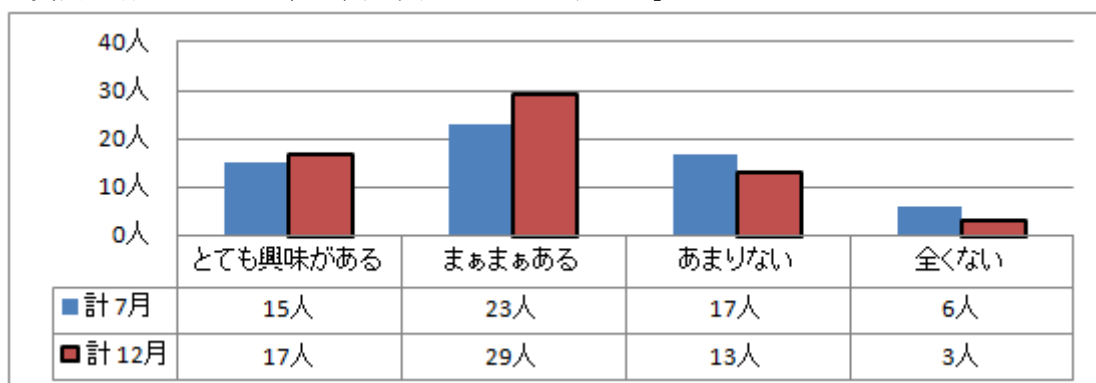
○質問内容「ペアの人やグループの人たちに進んで話しかけてコミュニケーションをとろうとしていますか？」



○質問内容「あなたは、外国語活動で英語が話せるようになったなあと思いますか？」



○質問内容「あなたは、外国に興味がありますか？」



6 年間指導計画

外国語活動 年間指導計画				
月	第5学年		第6学年	
	単元	内容	単元	内容
4月	Lesson 1 世界の「こんにちは」を知ろう	世界の様々なあいさつを知り、様々な国の言葉であいさつしたり英語で自分の名前を伝える自己紹介をした	Lesson 1 アルファベットで遊ぼう	アルファベットを使った様々な活動を通して、アルファベットの大きな文字の読み方に親しむ。
5月	Lesson 2 ジェスチャーをしよう	表情やジェスチャー等を使って自分の思いを表現し合い、言葉によらないコミュニケーションを図る。	Lesson 2 いろいろな文字があることを知ろう	アルファベットや21～100の数をを使った様々な活動を通して、アルファベットの小さな文字の読み方や21以上の数の言い方に親しむ。
6月	Lesson 3 数で遊ぼう	世界の数の数え方を知り、いろいろな国の言葉で数を数えたり、数を使った様々なゲームをする。	Lesson 3 友だちの誕生日を知ろう	英語での月や序数の言い方に親しみ、自分の誕生日を紹介し合った
7月	Lesson 4 自己紹介をしよう	身近な外来語と英語の違いに気が付き、身の回りの物の好き嫌いを加えた自己紹介をする。	Lesson 4 できることを紹介しよう	「できる」「できない」の表現を使って、互いに尋ねたり自己紹介したりする。
8月				
9月	Lesson 5 いろいろな衣装を知ろう	世界には様々な衣装文化があることに気が付き、様々な服や色の英語を使って買い物をする。	Lesson 5 道案内をしよう	建物や道案内の簡単な表現に慣れ、友だちどうして英語による道案内を体験する。
10月	Lesson 6 外来語を知ろう	様々な果物や野菜の言い方を使ってフルーツパフェを作ったり、世界の食べ物を知り好きなものを注文したりする。	Lesson 6 行ってみたい国を紹介しよう	世界の様々な有名な食べ物や建物、人物への関心を深め、自分の行きたい国について理由をつけて紹介する。
11月	Lesson 7 クイズ大会をしよう	様々なクイズを通して楽しく英語の表現に親しんだり、自分たちでクイズを作って出し合うクイズ大会をする。	Lesson 7 自分の一日を紹介しよう	英語での時刻の表現を使って、自分の1日の生活を紹介し合う。
12月				
1月	Lesson 8 時間割を作ろう	様々な教科名や曜日の表現に慣れ、自分の理想の時間割を作って紹介し合う。	Lesson 8 オリジナルの劇をつくろう	世界の様々な民話や物語を英語で聞いたり、英語を使った劇を演じたりする。
2月	Lesson 9 ランチ・メニューを作ろう	丁寧な表現で注文したり注文を聞き取ったりして、自分の理想のランチメニューを作って紹介し合う。	Lesson 9 将来の夢を紹介しよう	様々な職業の言い方を知り、将来つきたい職業について尋ね合ったり、自分の夢について理由をつけてスピーチしたりする。
3月				

7 指導案

(1) 5学年 英語ノート1 Lesson 5「いろいろな衣装を知ろう」

5学年 外国語活動 学習指導案

- | | |
|---|---------------------------------------------------------------------|
| 1 | 単元名： <u>いろいろな衣装を知ろう</u> （第3限目）英語ノート p.34 対象： <u>第5学年1組</u> |
| 2 | 使用教材： <u>英語ノートデジタル版（e-黒板）、買い物用絵カード（色を塗った服）</u> |
| 3 | 本時のねらい： <u>買い物の表現を使って、自分が欲しいものを伝えたり相手が欲しいものを聞き取ったりして、買い物ゲームをする。</u> |

4 本時の展開

時	学習内容	○指導者の活動 ●児童の活動	※指導上の留意点	△準備
2	① 始めのあいさつをする。	○ “Hello, everyone.” ○ “How are you?”		
3	【Let's sing】 HRT&T2&T3&T4			
	② “Do you have a cap?”を歌う。	● e-黒板に合わせて歌う。 ●色や単語を替えて歌う。	△英語ノートデジタル版（e-黒板）	
			※ ペアで役割を交換しながら歌うようにさせる。	
8	【Let's play】 HRT&T2&T3&T4			
	③ “Do you have ~?”の表現を使って仲間探しゲームをする。	○ ゲームの仕方を説明し、絵カードを配る。	△児童用絵カード	
		● “Do you have ~?”と尋ねたり“Yes, I do.” “No, I don't.”で答えたりしながら同じ色・服の仲間を見つける（4人）。	※ “Do you have ~?”の表現に慣れさせる。	
			※ あいさつや笑顔、アイコンタクトを意識させる。	
5	【Let's listen】 HRT&T3			
	④ 買い物の会話を聞く。	○ デモンストレーションをする。	△店員用エプロン	
		・ (HRT) “Hi!” (T3) “Hi!”	△服を並べたトレイ	
		・ (HRT) “Do you have a green cap?”	※ HRT：客、T3：店員	
		・ (T3) “Yes, I do. I have a green cap.”	※ 動作や表情を大きめにしながら、何について話しているか予想しながら聞き取らせる。	
		・ (HRT) “I like it!” (T3) “Here you are.”	※ 次の活動につなげるため、何人かの児童と HRT (T3) で繰り返す。	
		・ (HRT) “Thank you. How about this?”		
		・ (T3) “Fashionable!” (HRT) “Thank you. Bye!” “Bye!”		
24	【Activity】 HRT&T2&T3&T4			
	⑤ 買い物ゲームをする。	○ ゲームの仕方を説明する。	△児童が作った買い物用絵カード	
		● 買い物の表現を使って買い物ゲームをする。“Hi. Do you have~?” “Yes, I do.” “Here you are.” “Thank you.”	△体の絵（児童用）	
		・ 店員役は、客に言われた色の服のトレイを見せ、客が指差した服を渡す。	※ T2~T4 は、児童どうしのコミュニケーションがうまくいくように支援する。HRT は、全体を見ながら終わった児童に次の指示を出す。	
		・ 買い終わった客は、買った服を他の人に見てもらおう。	※ 早く終わった児童には、自分が選んだ服を他人に見せて感想をもらうようにさせる。	
		・ 10分間で、客と店員の役割を交代する。		
		○ どんな服を買ったのか、紹介させる。		
2	【Impression】 HRT			
	⑥ 感想を言う。			
1	⑦ 終わりのあいさつをする。			
		○ “We're finished.” “Did you enjoy?”		
		○ “See you next week.” ● “See you next week.”		

5 評価規準

- ・ 色や服、“Do you have~?”の表現を使って自分が欲しいものを伝えたり聞き取ったりして、積極的に買い物ゲームに参加しようとする。(⑤の場面)

6 指導後の反省点等

- ・ ②の場面で、チャンツを向かい合わせで歌わせた方がよかった。
- ・ ⑤の場面で、売る服の数を少なくして売り切れる状況を作ること、客が“Do you have~?”と店員に尋ねる必要性をもたせるとよかった。

(2) 6 学年 英語ノート2 Lesson 6 「行ってみたい国を紹介しよう」

6 学年 外国語活動 学習指導案

1	単元名： <u>行ってみたい国を紹介しよう</u> （第3限目）英語ノートP.38 対象： <u>第6学年1組</u>
2	使用教材： <u>世界の建物・遺産・人物・動物などのカード</u>
3	本時のねらい： <u>世界の有名な建物・遺産・人物・動物などに関心をもち、自分が見たい物（会いたい人）の英語を発音したり聞いたりする。</u>
4	本時の展開

時	学習内容 ○指導者の活動 ●児童の活動	※指導上の留意点 △準備
2	①始めのあいさつをする。 ○ “Hello,everyone.” ● “Hello, Ms.○○” “Hello,Ms.◇◇” ● “How are you?” ● “I’m fine / happy / good . ”	※ グループ毎に丸く座って、子ども同士で健康状態を尋ねたり答えたりする様子を見取る。
12	【Let's listen】 HRT&T2&T3&T4&T5 ②I want to seeを使った建物・遺産・人物・動物などの英語の発音を聞き、それぞれがどの国の物か考える。 I want to see Panda / Obama / White House / Disneyland / Hollywood / Baseball Game / Soccer Game / Koala / Kangaroo / Uluru / Bae Yong Juun / Sphinx / Pyramid / Eiffel Tower / Pisa Tower ○何を見たい、誰に会いたいと言っているのか考えさせる。 ●I want to seeで何を見たい、誰に会いたいと言っているのか考える。 ○それぞれがどの国の物か考えさせる。 ●それぞれがどの国の物か考える。 例) Panda → China Obama → America ○I want to see Panda. ●発音を聞いて発音練習をする。 I want to see Panda.	△世界の建物・遺産・人物・動物などのカード △国旗カード ※ 子どもにその物を見たい（その人に会いたい）という気持ちをもたせられるように大きい写真を提示する。 ※HRT~T5が分担して資料を紹介する。 ※初めはゆっくり発音させる。
7	【Let's play】 HRT & T2&T3&T4&T5 ③「キーワードゲーム」をする。 ○Make pairs. ○今日のキーワードを伝え、キーワードが聞こえたら消しゴムを取ることを伝える。 I want to see Uluru / Sphinx / Obama / Bae Yong Juun / ●HRTがキーワードを言わなかった時は、I want to see ~.を繰り返す。 ●HRTがキーワードを言った時は、消しゴムを取る。	△消しゴム ※ 繰り返し聞いたり話したりさせて、音声や表現に慣れ親しませる。
20	【Activity】 HRT&T2&T3&T4&T5 ④「I want to see ゲーム」をする。 ○デモンストレーションをする。 HRT&T3&T5 HRT：“Make pairs.” T3：“Hello.” T5：“Hello.” T3T5：Rock, Scissors,Paper,Go.（じゃんけんをする。） T3：I want to see Obama. T5：Oh、Obama！ T3：カードに書いてあるBが言った言葉に○をつける。 T5：I want to see Pyramid. T3：Oh、Pyramid！ T5：カードに書いてあるAが言った言葉に○をつける。 T3T5：Thank you. Good-bye. T3T5：メンバーを替える。 ●I want to seeゲームをする。	△ビンゴカード（3種類）、ペン、シール ※相手が言った言葉を聞き取ったか分かるように、言葉を繰り返してから○をつけさせる。 ※ 多くの友だちとゲームができるように1回毎に必ずペアの相手を替えさせる。 ※ 教室の中で担当する範囲を決め、子どもの活動を支援する。 ※ビンゴができればT5からシールをもらう。1番ビンゴが多かった人が勝ち。
3	【Impression】 HRT ⑤授業の感想を発表させる。 ○How was today's class？ ●感想を発表する。	
1	⑥終わりのあいさつをする。 ○ “We're finished.” “See you next week.” ● “See you next week.”	

5 評価規準

- ・世界の建物・遺産・人物・動物などを英語で発音する活動を通して、世界の建物・遺産・人物・動物などに関心をもつ。(②の場面)
- ・I want to see ~の表現を使ってコミュニケーションを楽しもうとする。(④の場面)

6 指導後の反省点等

- ・キーワードゲームなどの活動に子どもたちは意欲的に参加していた。
- ・ゲームのやり方にも慣れてきて、多くの友だちとコミュニケーションを図ることができた。
- ・世界にある建物や遺産に興味をもたせることができた。次時につながる意欲付けができた。
- ・本当に自分で見たい物を発表させるなど自主的な活動があってもよかった。

(3) 活動の様子

